

AS13100改訂A

主な変更点の概要 ポケットリファレンスガイド

This translation is executed by The Society of Japanese Aerospace Companies under a license with SAE Industry Technologies Consortia 400 Commonwealth Drive, Warrendale, PA 15096, USA copyright ©[2026] SAE Industry Technologies Consortia. SAE Industry Technologies Consortia does not approve and does not confirm these translations and in any cases only the entire English version published with an SAE Industry Technologies Consortia copyright can be considered as the official version. Reproduction of the specified translations is strictly forbidden according to United States and international copyright laws

本翻訳版は、SAE Industry Technologies Consortia 400 Commonwealth Drive, Warrendale, PA 15096, USA の著作権 ©[2026] SAE Industry Technologies Consortia のライセンスに基づき、日本航空宇宙工業会が実施したものである。SAEインダストリー・テクノロジーズ・コンソーシアは、これらの翻訳を承認および確認することではなく、いかなる場合においても、SAEインダストリー・テクノロジーズ・コンソーシアの著作権で出版された英語版全体を正式版とみなすことができる。米国著作権法および国際著作権法に基づき、指定された翻訳を複製することは固く禁じられている。

Earl Capozzi, PW Discipline Chief

Email: earl.capozzi@prattwhitney.com



Larry L Bennett, GE Consulting Engineer

Email: larry.l.bennett@geaerospace.com



Jun Sakai, IHI Chief Engineer

Email: sakai9050@ihi-g.com



Iain Pendry, RR Manufacturing Engineering Chief

Email: Iain.Pendry2@Rolls-Royce.com



Pete Teti, PW QE Senior Fellow

Email: peter.teti@prattwhitney.com

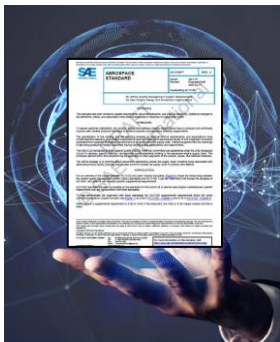


**AESQ サプライヤー カンファレンス
- ポーランド、ジェシェフ向けに調製**

Prepared by: Pete Teti, Pratt and Whitney

Panel 1, Top Half, May 2025

AS13100 改訂A – 重要な変更点は何か?



改訂Aの利点

これらの改訂で、複雑さを軽減し、一貫性を向上し、サプライヤーの責任を強化することにより、より効率的で信頼性の高い品質管理システムを構築します。この改訂により、サプライヤーは積極的な品質管理対策を導入し、製品の信頼性の向上、不適合の削減、航空宇宙産業の規格への準拠の強化につながります。

この取り組みにより、航空エンジン サプライ チェーンのパフォーマンス、品質、安全性を向上させるシンプルで効果的な品質システムを提供するという AESQ のミッションが強化され続けます。

AS13100 改訂 A では、航空宇宙エンジン業界のサプライヤー品質管理の合理化、明確化、強化を目的とした重要な更新が導入されています。サプライヤーや業界団体からの意見を取り入れて策定されたこれらの変更は、冗長性を削減しながら、品質管理に対するより構造化された一貫性のある取り組み方法を提供します。

主要な強化点

簡素化と一貫性:

本規格は、不要な複雑さを排除して合理化されました。より明確な意図伝達のため、用語の一貫性が向上されました。参照や監査を容易にする、より明確な番号付けがなされました。

工程制御とリスク管理の改善:

量産前の環境での制御を強化するため、一時的キー特性 (TKC) を導入しました。能力指標を Cpk から Ppk に移行し、工程パフォーマンスのより強固な評価を実現しました。高リスク領域に積極的に対処するための自己評価要求を備えた工程故障モード影響解析 (PFMEA) を強化しました。工程の安定性を高めるために、管理チャートのオペレーターのトレーニング要求を明確化しました。

測定システムと検査の機能強化:

正確で信頼性の高い測定を保証するため、測定システム解析 (MSA) 要求はより厳格化されました。初回製品検査 (FAI) は AS9102 改訂 C に準拠し、あいまいさを排除して簡素化されました。

監査と適合性の柔軟性:

製品監査の頻度が、固定スケジュールではなく顧客要求ベースに変更されました。新しい適合性自己評価要求で、サプライヤーは適合性を積極的に確認し、維持できるようになります。

文書管理とサプライヤーの責任:

電子記録の保守と機密データの取り扱いに関する要求が改善されました。透明性と協調性を向上させるため、顧客通知要求が調整されました。

トレーニングと人材開発:

漠然としたトレーニング要素を削除し、標準化された監査要求を導入して、能力を確実にします。業界のベストプラクティスに合わせてサプライヤーのトレーニングガイドラインを更新しました。

品質保証と製品安全の向上:

リスクをさらに軽減するため、製品安全要求を拡張しました。再加工に対する凍結工程管理要求を明確にし、工程安定性を確実にします。



8.1.3.1 製品安全 – 補足要求 組織は、製品の安全性を確保するために必要なプロセスを計画、実装、および管理する必要がある。これらのプロセス工程には、必要に応じて次のものが含まれる。

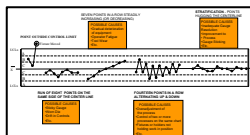
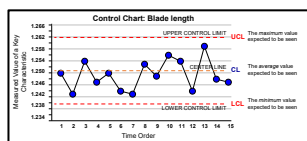
- 事後対応的および予防的方法を含む危険の特定。
- 特定された危険に関連する安全リスクの分析、評価、および制御。
- 製品の安全性に影響を及ぼす可能性のある変更の特定と管理。
- 安全プロセスの有効性の評価。
- 関係者への製品安全責任に関するトレーニングの提供。
- 安全上重要な情報、安全イベント、安全手順の変更など、該当する場合、製品の安全に関する情報の伝達と認識。
- 顧客および規制要件に従った、安全イベントの顧客、規制当局、および型式証明書保有者への報告。



SMIG TEAMによるAS13100 A改訂点

工程管理方法– RM13006

- 工程管理方法
- 顧客の要求に応じた一時的キー特性(TKC)を実装
- 推奨される能力指標が Cpk から Ppk に変更
- 高いPFMEAリスクに対処するためのサプライヤー独自の工程主要特性の評価
- ウェスタンエレクトリックルールの管理図を使用するオペレーターの訓練
- 工程不安定性と能力に影響を与える根本原因の特定
- 最低限の能力を満たさず、改善できない工程に対する、顧客向け管理計画
- 現在、新しい要求に合わせて RM13006 を改訂中。予定日: 2025 年 6月30日



SMIG TEAMによるAS13100A改訂点

100%検査の代替方策 – RM13002



- 既存の要求を明確化および簡素化するために多くの変更を実施した。
- RM13002から「すべき(should)」を9.1.1.2.8項「しなければならない(shall)」に変更して条項を移した。「100% 検査の代替方策における特性について、管理計画に、常時検証をしない製品特性の定期的チェックを含まなければならない(shall)」(例: 金型、治具、またはツールの検査時)。



Panel 3, Top Half, May 2025

SMIG TEAMによるAS13100 A改訂点

測定システム分析(MSA) – RM13003



- 既存の要求を明確化および簡素化するため多くの変更をしている。
 - 16.5.10.1.eに従って MSA を実施する。
 - 16.5.10.1内の注記を更新。
MSA 計画には、製品の MSA 要求を満たすために APQP フェーズ 4 (製品および製造検証) 中に実行される活動 が文書化されていること。
 - 3.2(補足:用語と定義)の36番目のMSAの定義をRM13003 に合わせて修正している。下の囲み内を参照のこと。
 - 7.1.5.1.1.3が次のように変更された: すべての MSA検証は、7.1.5.1.2 に記載されている生産条件またはそれと同等の条件下で実施する必要がある。
 - 7.1.5.1.3.5 特性分類が不明な場合は、顧客から特に指示がない限り、受入れ基準は“Major”列とすること。
 - 7.1.5.1.3.7の要求を明確化した。
「MSAについては、クリティカル、メジャー、またはマイナーの特性カテゴリに基づいて、表4のKCの受け入れ基準を適用する」と記載された。
- 表4の属性データの受け入れ基準に関する記載間違いを修正した。



MSA 定義: 測定システム分析 (MSA) は、測定プロセスの徹底的な評価であり、通常は測定の変動と偏りの原因を特定して定量化することを目的とした試験を含む

Panel 3, Bottom Half, May 2025



AS13100改訂A

主な変更点の概要

ポケットリファレンスガイド



SMIG TEAMによるAS13100A改訂点

初回製品検査 – RM13102

- サプライヤーは、単独単発生産オーダーに FAIR を適用する。RM13102 に説明を追加。
- 8.5.1.6 全体で AS9102 改訂 C に準拠するように文言を更新した。
- 製造用検査装置から独立して検査する必要がある検査についての例外を削除した。「例外は顧客の承認が必要」と追記した。



SMIG TEAMによるAS13100A改訂点

品質監査 – RM13005 / 適合性評価 – RM13009

品質監査

- 監査員資格表は、実施される監査の種類に基づいて書き換えられた。
- マネジメント・レビューの監査は年1回から3年に1回で済むようになった。
- 製品監査の頻度が毎年から「顧客の要求に応じて」に変更された。
- 年次監査報告書の作成要求を削除。



適合性評価

- AS13100 適合性自己評価を実施するための要求には、「適合性自己評価レビューは少なくとも年に1回レビューし、必要に応じて更新するものとする…」が追加された。
- RM13009 の用紙が新しい用紙に更新された。





AS13100改訂A

主な変更点の概要

ポケットリファレンスガイド

AS13100改訂A セクションごとの変更点



セクション7

7.5.2.1.1.1項として、電子記録の維持に関する規定を追加

7.5.2.1.4項として、文書化された情報の測定単位に関する明確化要求を追加

7.5.3.4項で、文書化された情報の損傷に関して「直ちに」を「3営業日以内」に変更

7.5.3.5.4項で、非破壊評価/試験記録の保持に関する要求を変更

セクション8

8.1.3.1項で、製品安全要求を更新

8.3.4.5項で、DfX要求の更新

8.4.1.4.2項で、顧客への通知の要求を「すべき(should)」から「しなければならない(shall)」に変更

8.4.3.1.2項を追加し、購入文書に関する要求を追加

8.5.1.1.1.2項として新たに項としたうち、その「項では「検証」を削除し「確認」のみに

8.5.1.4.1.1.1項として、注記テキストを要求テキストへ移動

8.5.1.4.2項で、顧客による「承認」を「共有」に変更

8.5.1.5.2項として、新しい部品の導入の適用範囲を明確化

8.5.1.6.1項bとして、「単独単発生産オーダー」関連のテキストを削除

セクション8

8.5.1.6.1 f. ii項として、独立した検査機器の要求を変更し、例外は顧客の承認が必要であると明記



8.5.1.8項で、NDTおよび溶接プロセス関連の要求を削除

8.5.1.8項で、非破壊検査従事者に関する要求を明確化



8.5.6.1.2.1項で、APQPとPPAPの適用範囲を「顧客と組織の間で合意された場合」と明確化

8.7.1.1.1項を追加し、手直し作業に関連する凍結工程管理要求を追加

Panel 6, Top Half, May 2025



AS13100改訂A

主な変更点の概要

ポケットリファレンスガイド

AS13100改訂A セクションごとの変更点



セクション9

9.1.1.1項で、セクション全体の書き直し

9.1.1.2項で、セクション全体の書き直し

表9で、マネジメントレビューを削除、製品監査の適用範囲を変更

9.2.3.6項および9.2.3.7項で、確立されたチェックリストを使用する要求を追加

9.2.5項の年次監査報告書の要求を削除

B章

図2 で、APQPおよびPPAPフロープラン図を更新

表10 で、AESQ PPAPイベントの表を更新(内容は不変)

16.2.1.1 項cで、APQPおよびPPAP成果物計画要求を追加

B章

16.5.10.1 項dで、セクション19の参照を更新

16.5.10.1 項eで、表3および表4の使用要求を追加

16.6.9.1項

cで、管理計画の見直しと改訂の要求とRM13145の参照を追加

eで、セクション19 参照を追加

19.1項 要求を変更

表11、12、13、14、15を更新

Panel 6, Bottom Half, May 2025

ポケットガイド改訂Eの改訂履歴

はポケットガイドの前の改訂版からの変更箇所を示す
2025年6月17日改訂E ポケットガイドの変更点

●スライド2上部:

AS13100Aに準拠するため、安全プロセス項目「a)～e)」を「a.～g.」に訂正した。

●スライド3上部:

Removed SHALLS…の文は AS13100初版から変更なく
AS13100A と一致していなかった。(そのため削除)

注 - このシートはポケットガイドの一部ではないが、2025年6月2日にAESQ運営チームメンバーであるJun Sakaiによる変更履歴記録として提供された。

注: AS13100Aのバロット4 (第4回投票)で、“no shalls - added text after data”(shallが不要-データの後に文を追加)というコメントがあったが、提案された決議文は変更されなかった。(恐らくエラーによる)

●スライド3下部:

AS13100A に合わせて 7.1.5.1.3.8 を 7.1.5.1.3.7 に訂正した。

●スライド5下部:

AS13100A の文言に合わせて、7.2.4で、AS13100 に追加した内容を記載。

●スライド6上部:

8.5.1.6.1.2.1 項はない。これは 8.5.6.1.2.1である。

8.5.6.1.2.1 については既に説明がある。重複している可能性がある
ので、結合する。

●スライド6上部:

AS13100Aに合わせて“after 1/1/2023”(2023 年 1 月 1 日以降)の文言を削除した。